

報道関係者 各位

### 新型インフルエンザ患者が集中治療室において 人工呼吸器を利用した症例について

9月16日、大阪府より、新型インフルエンザ患者が集中治療室において人工呼吸器を利用した症例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

連絡先	大阪府新型インフルエンザ対策本部事務局 健康医療部 保健医療室 地域保健感染症課 感染症グループ 担当：大庭、富田
代表	06-6941-0351
内線	2542
直通	06-6942-9888

新型インフルエンザ患者が集中治療室において人工呼吸器を利用した症例についてお知らせします。

【患者概要】

年齢：70歳、性別：女性、住所地：岸和田市  
(基礎疾患)  
糖尿病、高血圧

【経緯】

- 9月 13日 咳の症状あり。  
14日 咳がひどくなり、近医を受診。  
15日 近医再診、他院を紹介され受診。  
肺炎の疑いがあり、他の府内の病院に入院。  
発熱38℃。迅速簡易キットA (+)。タミフル投与。  
集中治療室にて治療、人工呼吸器を利用。  
16日 午後6時、府立公衆衛生研究所によるPCR検査により新型インフルエンザの感染を確認。

\* 本件は、平成21年8月25日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について」に基づき、新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室し、人工呼吸器を使用していることから、厚生労働省と連携して公表するものです。